

平成23年の梅雨入り・明けと梅雨時期の特徴について

平成23年の梅雨入りは、沖縄地方から関東甲信地方にかけてはかなり早く、北陸地方と東北地方では遅かった。梅雨明けは全国的に早く、特に、沖縄地方と中国地方から東北地方にかけてはかなり早かった。梅雨の時期の降水量は、沖縄地方、奄美地方、九州南部、四国地方、東北南部で多く、中国地方、関東甲信地方、東北北部で少なく、他は平年並だった。

地方名	梅雨入り(注1)	平年	梅雨明け(注1)	平年	梅雨時期の降水量 平年比と階級(注2)
沖縄	4月30日ごろ(-)*	5月9日ごろ	6月9日ごろ(-)*	6月23日ごろ	138%(+)
奄美	4月30日ごろ(-)*	5月11日ごろ	6月22日ごろ(-)	6月29日ごろ	128%(+)
九州南部	5月23日ごろ(-)*	5月31日ごろ	7月8日ごろ(-)	7月14日ごろ	135%(+)
九州北部	5月21日ごろ(-)*	6月5日ごろ	7月8日ごろ(-)	7月19日ごろ	119%(0)
四国	5月21日ごろ(-)*	6月5日ごろ	7月8日ごろ(-)	7月18日ごろ	146%(+)*
中国	5月21日ごろ(-)*	6月7日ごろ	7月8日ごろ(-)*	7月21日ごろ	74%(-)
近畿	5月22日ごろ(-)*	6月7日ごろ	7月8日ごろ(-)*	7月21日ごろ	95%(0)
東海	5月22日ごろ(-)*	6月8日ごろ	7月8日ごろ(-)*	7月21日ごろ	103%(0)
関東甲信	5月27日ごろ(-)*	6月8日ごろ	7月9日ごろ(-)*	7月21日ごろ	83%(-)
北陸	6月18日ごろ(+)	6月12日ごろ	7月9日ごろ(-)*	7月24日ごろ	96%(0)
東北南部	6月21日ごろ(+)	6月12日ごろ	7月9日ごろ(-)*	7月25日ごろ	110%(+)
東北北部	6月21日ごろ(+)	6月14日ごろ	7月9日ごろ(-)*	7月28日ごろ	70%(-)

(注1) 梅雨の入り・明けには平均的に5日間程度の遷移期間があり、その遷移期間のおおむね中日をもって「〇〇日ごろ」と表現した。記号の意味は、(+)*: かなり遅い、(+): 遅い、(0): 平年並、(-): 早い、(-)*: かなり早い、の階級区分を表す。

(注2) 全国153の気象台・測候所等での観測値を用い、梅雨の時期(6~7月。沖縄と奄美は5~6月)の地域平均降水量を平年比で示した。記号の意味は、(+)*: かなり多い、(+): 多い、(0): 平年並、(-): 少ない、(-)*: かなり少ない、の階級区分を表す。

※階級区分は、1981~2010年における30年間の観測値をもとに、以下のように振り分けている。

	33%		33%
	10%	33%	10%
梅雨入り・明け	遅い	平年並	早い
	かなり遅い		かなり早い
降水量	少ない	平年並	多い
	かなり少ない		かなり多い

※気象庁では、毎年、春から夏にかけての実際の天候経過を総合的に検討し、各地の梅雨入りと梅雨明けの確定及び梅雨時期の特徴のまとめを行っている。

本件に関する問い合わせ先

: 地球環境・海洋部気候情報課(内線3154)、予報部予報課(内線3127)